

株式会社エクストランス

X-MON3.7.0

アップデート内容

目次

目次	1
アップデート内容	2
障害検知数表示機能	2
SSL 証明書プラグインの追加	2
時刻設定へ使用状況確認の追加	3
除外時刻設定へ使用状況確認の追加	3
HTTPS 監視プラグイン改修	4
Web コンテンツ改ざん監視/Web コンテンツ改ざん監視(一括監視)プラグイン改修	4
カスタムメトリクス監視プラグイン改修	4
X-MON サーバ内の SNMPTRAP コミュニティ名表示	5
グラフ機能縦軸の上限下限指定の追加	5
サービスグループ API の追加	5
X-MON2.x から X-MON3.7.0 以降へのアップグレードを廃止	5
不具合の修正	6
監視設定	6
表示関連	6
グラフ関連	6

アップデート内容

X-MON3.7.0 では以下の内容が追加されました。

障害検知数表示機能

検出されたアラートの数を集計し、表示する機能を追加しました。

ダッシュボードの(ホスト/サービス)障害検知数パネルの情報を、期間やホストごとに絞り込み表示することが出来ます。



管理者がログインしています。(2018-09-04 11:54:05)

★ 障害検知数

ホストの障害検知数 | サービスの障害検知数

開始日時: 2018/08/01 00:00 | 終了日時: 2018/09/30 23:59 | ホスト・ホストグループの指定: キーワード検索 | 順位: すべて

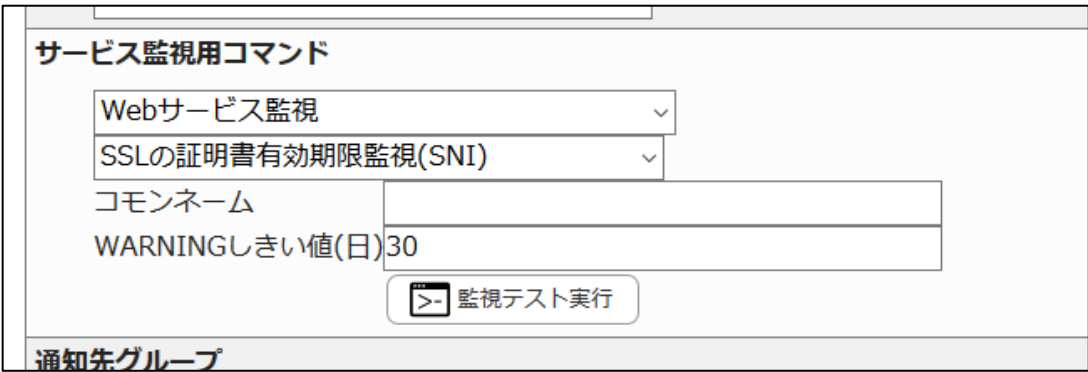
ステータスタイプ: SOFTを含むすべての障害 | 並び (降順): DOWN障害件数順 | タウンタイム: 含む | 絞り込み

ホストID	全体	DOWN	UNREACHABLE
Hyper-v(Hyper-v監視)	2	2	0
EC2_HOST()	1	1	0
ELB_HOST()	1	1	0
RDS_HOST()	1	1	0

SSL 証明書プラグインの追加

監視プラグイン「Web サービス監視」へ「SSL の証明書有効期限監視(SNI)」プラグインが追加されました。

これにより 1 つの IP アドレスで複数の証明書を使う SNI 設定がされているサーバの、SSL 証明書の有効期限を監視することが出来ます。



サービス監視用コマンド

Webサービス監視

SSLの証明書有効期限監視(SNI)

コモンネーム

WARNINGしきい値(日) 30

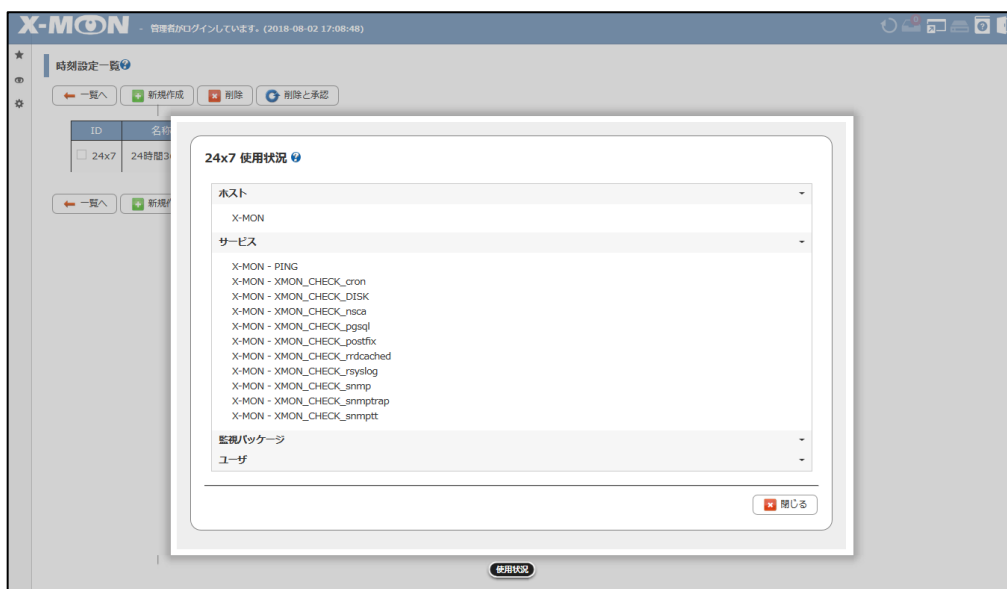
監視テスト実行

通知先グループ

時刻設定へ使用状況確認の追加

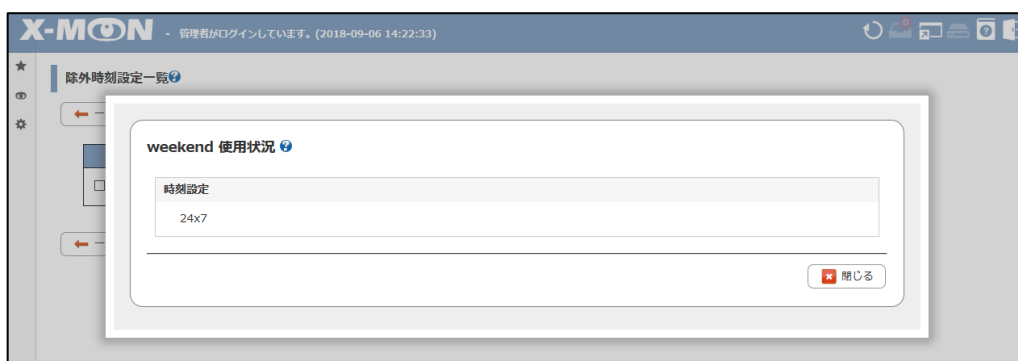
指定した時刻設定が現在、以下のどの設定で使用されているかを確認できるようになりました。

- ホスト設定
- サービス設定
- 監視パッケージのサービス設定
- ユーザ設定



除外時刻設定へ使用状況確認の追加

指定した除外時刻設定が現在どの時刻設定で使用されているかを確認できるようになりました。



HTTPS 監視プラグイン改修

SSL 通信方式を手動で指定できるようになりました。

サービス監視用コマンド

Webサービス監視

HTTPS監視

URLパス /

ポート番号 443

BASIC認証ユーザ名 none

BASIC認証パスワード ●●●●

応答時間WARNINGしきい値(秒) 4

応答時間CRITICALしきい値(秒) 8

タイムアウト(秒) 10

HTTPステータスコードの指定 無効

HTTPステータスコード

検出文字列

SSLバージョン

自動

自動

SSLv2

SSLv3

TLSv1

TLSv1.1

TLSv1.2

スト実行

通知先グループ

表示/非表示

Web コンテンツ改ざん監視/Web コンテンツ改ざん監視(一括監視)プラグイン改修

URL の形式「ftp://」が改ざん監視対象から除外されるようになりました。

コメントアウトされたリンクタグが改ざん監視対象から除外されるようになりました。

カスタムメトリクス監視プラグイン改修

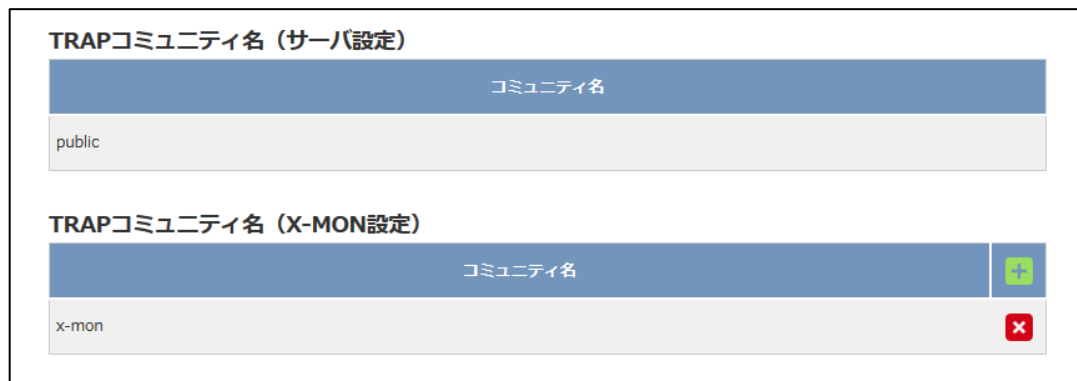
AWS 標準のネームスペース(EC2,RDS,S3,EBS 等)の監視が行える様になりました。

監視設定項目「Namespace」へ指定することで CloudWatch の情報を取得することが出来ます。

X-MON サーバ内の SNMPTRAP コミュニティ名表示

X-MON サーバ内ファイルへ直接記載された SNMPTRAP コミュニティ名を、管理画面上から確認できるようになりました。

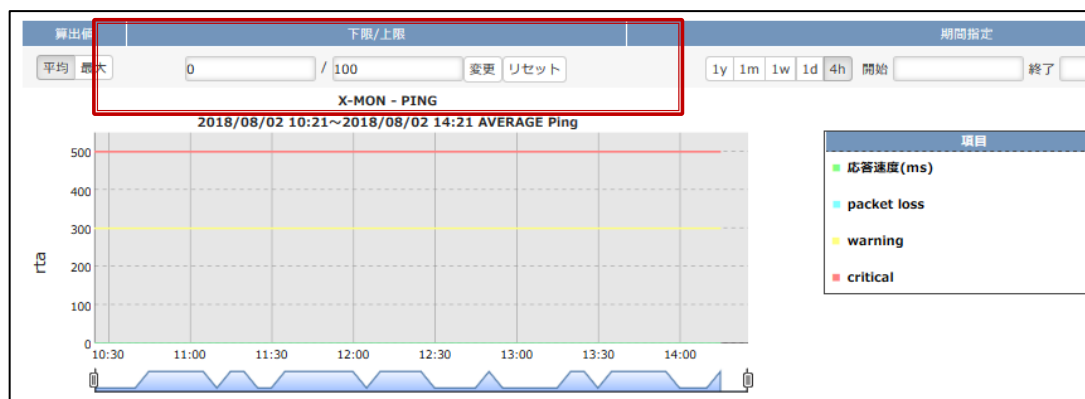
直接記載されたコミュニティ名は X-MON 管理画面より追加、削除等は行えません。



グラフ機能縦軸の上限下限指定の追加

X-MON3.3.0 以前のバージョンで存在した、グラフの縦軸の上限下限指定が復活しました。

従来のドラッグ&ドロップでの絞り込み以外に、数値を入力してグラフの縦軸を固定することが可能となります。



サービスグループ API の追加

サービスグループの管理を X-MONAPI から行える様になりました。詳しくは API ドキュメントをご確認ください。

X-MON2.x から X-MON3.7.0 以降へのアップグレードを廃止

X-MON インストール時に X-MON2.x よりデータを引き継ぐ機能を 3.7.0 で廃止しました。

X-MON2.x をお使いのお客様は、X-MON3.6.x までのバージョンへ一度アップグレードいただき、そこから X-MON3.7.0 へのアップデートをお願いいたします。

不具合の修正

以下の不具合を修正しております。

監視設定

- 「このホストの全てのサービスのチェックをスケジュール」を指定した時刻で行えない。
- CSV を使用したサービス設定で、改行コードを含む設定を追加すると X-MON 再起動が正常に動作しない。
- 一度に 100 件以上の TRAP 条件を一つのホストに登録できない場合がある。
- WMI を用いた Windows イベントログ監視で大量のログを検知した際に内部処理にロックがかかる。

表示関連

- 通知履歴で日本時間 0 時～9 時の間、前日のデータが表示される。
- 月の末日に設定変更履歴画面を表示すると、絞り込みの年月選択が正常に表示されない。
- サービス ID の末尾が拡張子「.jpg」等の場合に、エスカレーション設定画面が表示されない。

グラフ関連

- Retina ディスプレイでグラフ画像がずれて表示される。
- Fluentd プラグインのグラフ項目で、監視データよりしきい値が先に表示される。

その他軽微な不具合修正を含みます。